



飯沼中だより 1月

一人ひとりが輝き 学級 学年が輝く学校 平成30年1月9日(火)
飯沼中学校 TEL 746-7321 さわやか相談室 746-4572
<http://www.iinumachu.av-center.kasukabe.saitama.jp/> 生徒数 357名 (1月9日現在)

想像から創造へ

校長 野田隆幸

穏やかに平成30年を迎えました。保護者、地域の皆様にはご健勝にて新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は、本校の教育活動に多大なるご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございました。本年も、職員一丸となって取り組んで参りますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、年末から年始にかけて様々なスポーツが開催され、メディアで取り上げられています。中には実際に観戦に出かけた方もいらっしゃるでしょう。ラグビー、サッカーの天皇杯や高校選手権、春高バレー、駅伝競走、冬季オリンピック



予選となるスピードスケートやジャンプ競技などなど。私はテレビやラジオでの観戦でしたが、どれも感動を与えてくれました。私が印象に残ったのは、サッカー高校選手権準決勝で、累積警告のためピッチに立てなかった選手が、敗れて涙するチームメイトを笑顔で迎え声をかけていた姿です。感動を与えてくれたそれぞれの競技は、勝利する者もいれば、敗れる者もいます。どちらもにも共通することは、そこまで血の滲むような努力を続け、その結果に留まらず、次の目標を持ち続けていることではないでしょうか。その姿勢が観ている者に感動と勇気を与えてくれていると思います。ふと本校の生徒に目を転じてみると、この冬休みも北風が吹く中練習に取り組んだり、進路に向けて学習に取り組んでいる3年生の姿が目に見えます。グラウンドやコートに凍結防止剤をまいて整備したり、部室や楽器の整備なども行っていました。それぞれの目標を持ち、努力を続けてる飯中生を応援していきます。

今年度初め、生徒には「良さを伸ばす」「良さを認め合う」ということを話し、2学期は「想像する」こと(なりたい自分を想像する、相手の立場を想像する)を伝えました。まとめの3学期、



そして新しい年の初めにあたり始業式で「想像から創造へ」という話をしました。目標を持ち、なりたい自分をイメージして、学習や部活動に取り組んでいる生徒の自己実現を願ってこの言葉を送りました。毎日の生徒の笑顔と元気な挨拶で、勇気とエネルギーをもらっています。「伝統継承と確かな進化」そして、「生徒一人ひとりが輝き、学級・学年が輝く学校」の実現を目指して参ります、平成30年も飯沼中学校をよろしくお願ひします。